



1. 活動日時：2015年2月28日（土） 10:00～15:00

2. 参加者： 8名（社友GS 6名 現役GS 2名（金井さん・田平さん））

3. 活動内容

- ・今回は、全員で、岸和田市のイベント「岸和田・燈城」に展示する竹燈籠作りに取り組みました。
- ・「岸和田・燈城」は、3月8日(日)10:00～20:00に、岸和田城を中心に開催される「岸和田藩 食の宴 2015」のイベントの一つで、17:30から、岸和田城内を美しくライトアップします。
- ・ワイワイがやがや工夫して作った結果、2月14日に作ったものを含め、一節作りの背の低い燈籠を80個、背の高いオリジナル燈籠を7個、合計87個の燈籠を完成しました。
- ・イベント当日は、ろうそくとLEDで照明しますが、思い通りの形に灯るか楽しみです。
- ・活動頂いた8名のGSの皆さん、お疲れ様でした。
- ・今回も、フクロウの営巣は確認できませんでした。3月一杯が山場ですが、もし今年営巣しなくても、原点に戻ったと考え、フクロウの棲む森の環境作りに地道な活動を続けることが大切です。

4. 次回以降の活動

- ・3月は、竹林の整備がメイン作業になります。
- ・昨年、イノシシの駆除が進んだと聞きますから、今年はタケノコが楽しみです。

■燈籠作り。工夫色々。



香遠さんは、穴あけを終り、引き回し鋸で絵作りスタート。



だんだん形になってきましたが・・・何でしょう？

- ・穴はドリルで開け、線は鋸で引くのが基本です。
- ・図柄は、絵の要所要所に穴をあけ、引き回し鋸や、ジグソーで繋いで線にし、小刀やヤスリで仕上げて完成します。



岡森さんは、スリットの効果を狙っています。単純なものほど難しい。



原さんが製作中の岸和田市のマーク

■活動頂いた8名のグリーンサポーターの皆さんと、出来あがった燈籠。 この後も作品作りは続きました。



背の高い燈籠は、金井さんが枝を利用して作った足を付けて立つようにしました。



- 試しに残しておいた古いホダ木に、立派なシイタケが出ていました。
- 思いがけない恵みですから、早速焼いて、美味しく頂きました。

■作成風景色々。



押さえてもらうと作業が楽に。協力が大切です。トーチで焼くと、見た目にも楽しくなります。



卓上ドリル。初登場です。

■「岸和田藩 食の宴 2015」のパンフレットの「岸和田・燈城」の案内

岸和田・燈城

時間 17:30~20:00
(点灯式は17:20~)

会場 岸和田城(岸和田市岸城町9-1)

幻想的な灯籠のあかりが、岸和田城を照らします。市内の小学生が作った灯籠作品や、岸和田陶芸連盟、神於山保全くらぶ、シャープグリーンクラブなどの協力による灯籠、和歌山大学の学生による光の演出で岸和田城を幻想的に照らしたす“光のアート”。17:20からは、ちぎりくん、なすびんによる点灯式も開催。

